

浜 はまかぜ 風

岩手県立山田病院広報誌 新春号 Vol.17



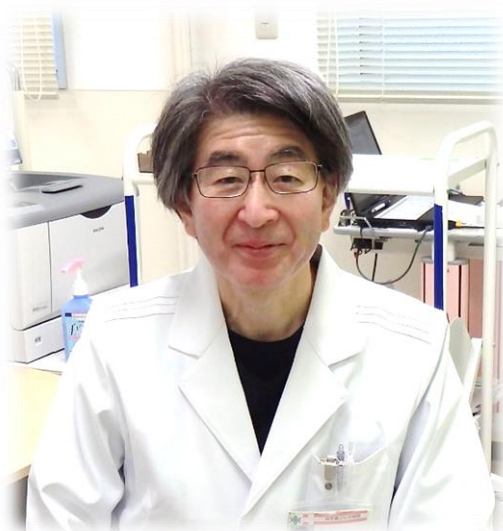
令和4年 院長新年挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年が皆様にとってより良き一年になりますよう祈念申し上げます。当院は2016年9月1日に現在の高台に復興再建後、5年3か月が過ぎました。つつがなく新しい年を迎えることができましたのも、ひとえにみなさまのご厚情とご支援のたまものと心より感謝申し上げます。

今年も新型コロナウイルス感染症対策に追われる1年間でした。パンデミック下にての東京オリンピック、パラリンピックも開催されました。イベントが縮小され震災復興の色がかすんでしまったのは残念でした。しきりと変異を繰り返し、現在またオミクロン株による第6波が始まっています。しかし未知の新興感染症で情報過多・不足にて混乱を招く時期はすでに過ぎており、この変異を繰り返すウイルスに対する知識も増え、賢明な感染対策を実行し、多くの方がワクチン接種を受けられ、またPCR検査、抗原検査も手軽に受けられ、新たな治療薬も使用できるようになりました。多くの感染症を克服してきた人類ですのでこの感染症の克服は近いと信じています。

昨年の4月より心強い鈴木宏昌先生が加わり、当院の常勤医も3人となっています。岩手医大、県立宮古病院、県立中央病院など県内の医療機関、また首都圏からの応援もいただいて外科、整形外科、眼科、小児科を継続しています。来年度からさらに常勤医がもう一人赴任予定でもあります。

今年も当院の理念である「患者さんとの信頼関係を基にした安心と安全の医療」を提供していく病院を目指して医療の質の向上や医療連携を推進し、地域の皆様に信頼される病院となれますよう努力してまいります。



宮本伸也院長

今年もサンタさんがやってきました！



東日本大震災のボランティア団体「ウィー・ラブ・東北」の方々が、おもちゃやお菓子を患者さんに届けに来ました。コロナ禍のため直接のふれあいはありませんでしたが、患者さん方は笑顔でいっぱいでした。ありがとうございました。

吉田樹由副院長より

新年早々の執筆となりましたので、長寿遺伝子についてのお話とします。

微生物から霊長類に共通して、適度のダイエットで特定の遺伝子がタンパク質に作用する酵素を発現させて寿命を延ばすことが知られておりこの遺伝子を長寿遺伝子と言います。産生された酵素はサーチュインと呼ばれ、細胞内のタンパク質に作用する（脱アセチル化といいます）ことで、細胞死や細胞老化を抑制したり、DNAを修復したりして寿命を延ばしているわけですが、サーチュインは糖尿病に関してもインスリンの分泌を増やすとともに、筋肉や肝臓でインスリンの感受性を高めること、また腎臓や心臓そして血管に働きかけることで腎不全・タンパク尿や心不全そして動脈硬化といった糖尿病の合併症も予防することがわかってきております。

そこで糖尿病治療に有益で長寿も期待できるサーチュインをどうやって増やすかということになりますが、赤葡萄の果皮に含まれる、あるポリフェノールにサーチュインを直接増やす作用があり、一時は赤ワインで寿命が延びると報道されたこともありました。相当量のポリフェノールが薬効上必要となり赤ワインではかえってアルコールで寿命を縮めることとなります。

一方糖尿病で用いられる薬品でサーチュインを間接的に増やすものもあります。肝臓からのブドウ糖放出を抑えて血糖を下げる薬（ビグアイド）はサーチュインを活性化する酵素を活性化することでサーチュインを増加させ、糖尿病のみならず認知症や発癌を抑制することが知られており、血中の余分なブドウ糖を尿に排泄することで血糖を下げる薬（SGLT2阻害薬）は体をダイエット状態にすることでサーチュインを増加させ現在では心不全の治療にもしようされています。

糖尿病でない方も、まずは暴飲暴食を避けてサーチュインを増やして老化を遅らせることをお勧めします。



吉田樹由副院長

感染症患者搬送訓練を実施しました

宮古保健所・宮古地区広域行政組合消防本部・宮古病院と協力し、感染症患者さんの搬送訓練をおこないました。

安全かつ迅速な対応に備え、搬送前準備からストレッチャー型アイソレーター（感染症患者搬送装置）への患者さん移乗、そして救急車両への乗車等本番さながらの訓練となりました。

今後も、地域の行政や医療施設と連携し、安心と最善の医療に繋がっていきます。





病院薬剤師のお仕事



●調剤業務

おもに入院患者さんが使用する薬の調剤をおこないます。医師の処方内容を確認（鑑査）し、薬の種類や投与量、他の処方薬や入院時に持参した薬との飲み合わせに問題がないかなどをチェックして調剤します。



●病棟薬剤業務

患者さんの治療に用いる薬を安心して使用していただけるよう、薬の説明をします。場合によってはご家族への説明をおこないます。入院中は薬の使用後に効果が出ているか、副作用が出ていないかの確認をしています。その内容を医師へ伝え、薬の処方設計や提案をおこなっています。



●チーム医療

医師、看護師などの医療スタッフが互いの専門性を尊重し、最大限の能力を引き出し合うことで最善の治療をおこなう取り組みです。各スタッフが医師と対等な立場で意見を出すことで、患者さんにとって最も効果的な治療法や方針が検討されます。



●医薬品情報業務

医薬品を安全、適正に使用するための情報を取り扱う業務です。収集した情報が適切かどうかを評価し、医師、看護師などの医療スタッフや患者さんへ提供します。また、院内で発生した副作用情報の収集や報告も大事な業務となっています。新たに見つかった副作用を厚生労働省に報告することで、薬の安全性がより高まります。



●薬品管理業務

治療に必要な薬が不足しないよう、薬の在庫管理をおこなう業務です。在庫管理以外にも、薬の使用期限や保管状況（温度や遮光等）の確認もおこなっています。薬剤師は、薬剤科だけではなく、病院内全ての場所で薬品管理業務に携わっています。



最近では・・・



看護師と協働でコロナワクチンの調整をおこなっています。1月下旬～2月上旬からは患者さんへの3回目の接種も始まりますので、接種に向け絶賛準備中です！！



●当院ではおこなっていませんが、薬剤師の業務は他にもたくさんあります。注射薬調整業務、がん化学療法業務、製剤業務、治験業務、救命救急業務、薬剤師外来、etc… 機会があればご紹介します！



2月

診療日程表

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
			1		2		3		4	
内科			○	○	○	○	○	○	○	○
総合診療科			○	○	○	○	○	○	○	○
外科			○	○	○	○	○	○		
眼科					○					
	7		8		9		10		11	
内科	○	○	○	○	○	○	○	○	休診	
総合診療科	○	○	○	○	○	○	○	○		
外科		○	○	○	○	○	○			
眼科	○									
整形外科		○								
小児科							○	○		
	14		15		16		17		18	
内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総合診療科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外科		○	○	○	○	○	○			
眼科	○				○					
整形外科		○								
小児科	○	○	○	○	○					
	21		22		23		24		25	
内科	○	○	○	○	休診		○	○	○	○
総合診療科	○	○	○	○			○	○	○	○
外科		○	○	○			○			
眼科	○									
整形外科		○								
小児科	○		○	○		○	○	○	○	
	28									
内科	○	○								
総合診療科	○	○								
外科		○								
眼科	○									
整形外科		○								

※診療予定が変更になる場合もありますのでお気軽にお問い合わせください。

編集後記

本来であれば清々しい気持ちで、新年を迎えるのでしようが、年明けと共に新型コロナウイルス感染症の第6波が始まってしまいました。ウィルスに対する知識も増え、今まで通りの感染対策を継続していきましょう。

当院への紹介患者数が減少している原因を調査したところ、検診後の紹介患者数が減少しています。感染症ばかりに気を取られて、本来受診しなければならぬ検診等を受けていない方はいませんか？病気にならないためには、予防が大切です。年度末に向かって、もう一度自分自身の健康について、考えてみてはいかがでしょうか？

3月

診療日程表

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
			1		2		3		4	
内科			○	○	○	○	○	○	○	○
総合診療科			○	○	○	○	○	○	○	○
外科			○	○	○	○	○			
眼科					○					
	7		8		9		10		11	
内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総合診療科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外科		○	○	○	○	○	○			
眼科	○									
整形外科		○								
小児科							○	○	○	
	14		15		16		17		18	
内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総合診療科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外科		○	○	○	○	○	○			
眼科	○				○					
整形外科		○								
小児科	○		○	○	○					
	21		22		23		24		25	
内科	休診		○	○	○	○	○	○	○	○
総合診療科			○	○	○	○	○	○	○	○
外科				○	○	○	○	○		
整形外科										
小児科				○	○	○	○	○	○	○
	28		29		30		31			
内科	○	○	○	○	○	○	○	○		
総合診療科	○	○	○	○	○	○	○	○		
外科		○	○	○	○	○	○			
眼科	○				○					
整形外科		○								



山田の冬の花火風景

発行
山田病院広報・ホームページ委員会
〒028-1352
岩手県下閉伊郡山田町飯岡第1地割21番地1
TEL 0193-82-2111
URL
<http://www.pref.iwate.jp/iryoukyoku/index.html>